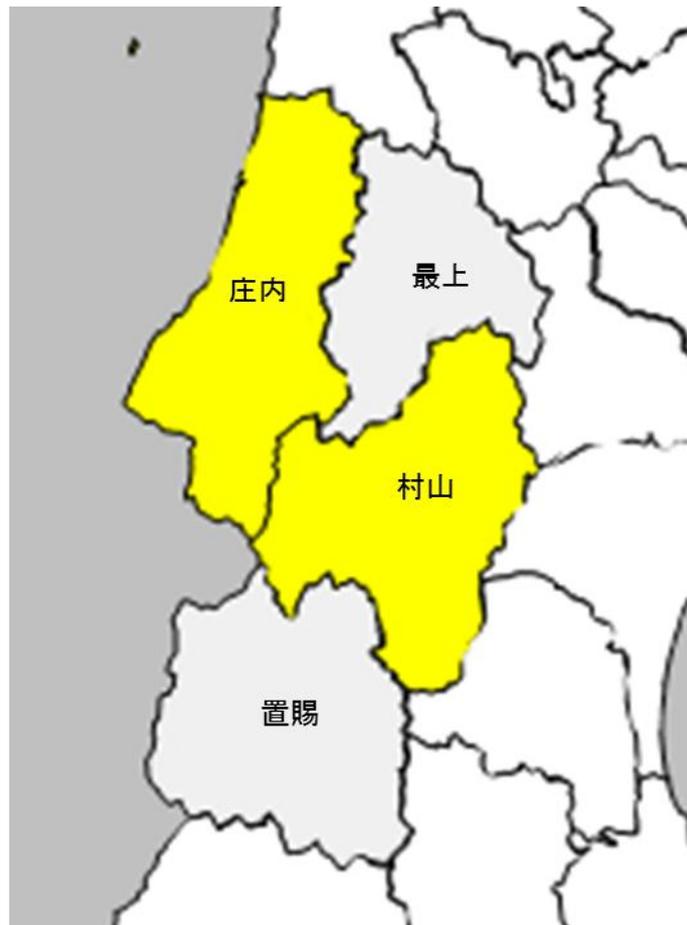


6. 山形県



6 山形県

A. 医療提供体制の現状

山形県の特徴は、(1) 全国平均値的な医療資源をバランスよく提供している医療提供体制、(2) 村山（山形市）と、庄内の2つの拠点が存在することある。

(1) 全国平均値的な医療資源をバランスよく提供している医療提供体制

県全体の病床数、一般病床数、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数の偏差値は、全て 50 前後であり、全国平均値的な医療資源を、バランスのとれた配置で医療を提供している体制と言える。

(2) 村山（山形市）と、庄内の2つの拠点

村山（山形市）に人口の 48%が集中しているが、病院勤務医の 66%、全身麻酔の 58%、看護師の 53%と、人口以上の割合で医療資源が集中している。置賜には置賜総合や米沢市民、最上には県立新庄病院があり、ある水準までの医療は地元で提供し、必要に応じて村山に送っている。一方、庄内には、日本海病院、庄内市立病院という基幹病院があり、病院勤務医 16%（偏差値 41）と医師不足であるが、全身麻酔の 24%を行い、独立した医療圏を形成している。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(村山)

村山（山形市）は、人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 58、全身麻酔数 52、総看護師数 56 であり、質、量の両面で県内では群を抜いている。また全身麻酔 1,000 件を超える病院が 4 つあり、最上や置賜からの多くの患者を受け入れている。

2010→35 年にかけて総医療需要が 1%増、0-64 歳の医療需要が 25%減であり、急性期病床の療養、亜急性期、回復期への転換を進め、医療不足の県内の他の医療機関へ医療資源を移すなどの対策が取られることが望ましい。

(最上)

最上は、約 1,800 km²と広大な医療圏に 8.5 万人しか住んでおらず、人口密度が 50 人/km²以下の医療圏である。新庄には県立新庄病院という 465 床クラスの病院があるが、脳血管疾患、虚血性心疾患の患者や高度医療が必要な場合、1 時間以上の時間をかけて、山形市内まで搬送を行うことが少なくない。この地域は、病床数（特に一般病床数）は多いが、病院勤務医数が少ない。

6. 山形県

現在の人口規模と2010→35年にかけて40%減少する0-64歳の医療需要を考えると、急性期医療の大幅な強化は難しく、山形への移送能力の強化と地域内の連携強化により医療機能を維持することが大切である。

(置賜)

置賜は、2,500平方キロの広大な地域に約23万人が住む、山形県の南部を占める医療圏である。公立置賜総合病院と米沢市立病院という400床を超える2つの拠点病院がある。人口当たりの病院勤務医数の偏差値が4.3、全身麻酔数4.4、総看護師数4.9であり、拠点病院に集約化が進んで医療圏である。地域内および山形との連携を中心に、医療機能の維持をめざすべきであろう。

(庄内)

庄内は、2,400平方キロの広大な地域に約30万人が住む、山形県の日本海側を占める医療圏である。圏内には、日本海総合病院、鶴岡市立庄内病院という500床を超える2つの基幹病院がある。人口当たりの病院勤務医数の偏差値が4.1、全身麻酔数4.8、総看護師数5.0であり、病院勤務医数の割に全身麻酔数が多く、過疎地としては急性期医療が充実した地域である。高齢者施設や療養病床が十分とはいえず、2010→35年にかけて37%減少する0-64歳の医療需要を考えると、急性期病床の一部を療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、地域内の連携を強化することによる機能強化をめざすべきであろう。

表 6-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
山形県	1,168,924	35位	9,323	9位	125.4		28%	-21%	19%
村山	563,473	48%	2,619	28%	215.1	地方都市型	26%	-15%	29%
最上	84,319	7%	1,804	19%	46.7	過疎型	29%	-29%	11%
置賜	226,989	19%	2,496	27%	91.0	過疎型	28%	-24%	11%
庄内	294,143	25%	2,405	26%	122.3	過疎型	29%	-27%	12%

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A.「医療提供体制の現状」、表6-1、表6-2、表6-5、図6-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図6-5)

図 6-1 総人口と 75 歳以上人口の増減率 (2010 年→35 年)

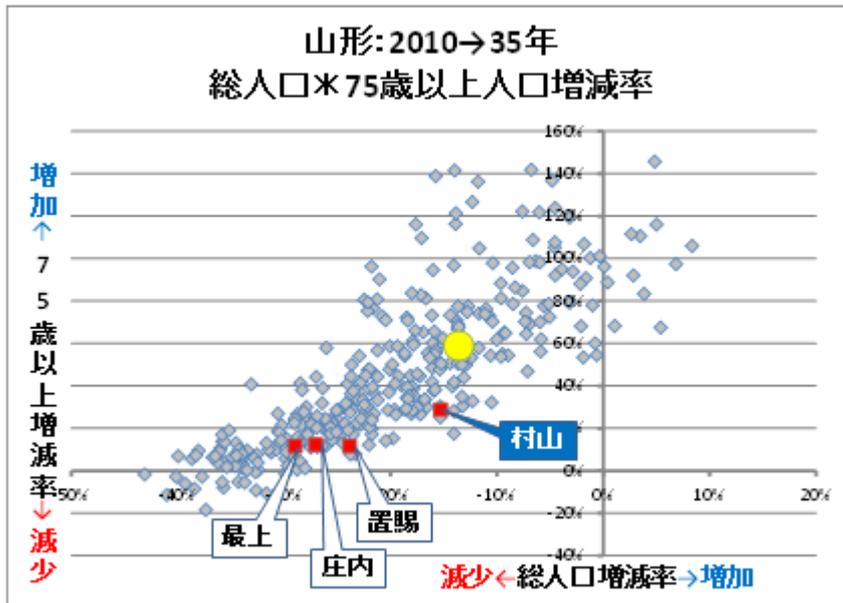


表 6-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数 (再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数 (再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
山形県	16,159	1.0%	1,382	52	9,459	1.0%	809	54	15,936	1.2%	89	47
村山	8,343	52%	1,481	53	4,849	51%	861	56	6,685	42%	82	43
最上	1,109	7%	1,315	50	775	8%	919	58	1,440	9%	101	52
置賜	2,928	18%	1,290	50	1,823	19%	803	54	3,601	23%	99	52
庄内	3,779	23%	1,285	50	2,012	21%	684	49	4,210	26%	88	46

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 6-2 病床数（人口 10 万当たり）、総高齢者ベッド数（75 歳以上 1,000 人当たり）

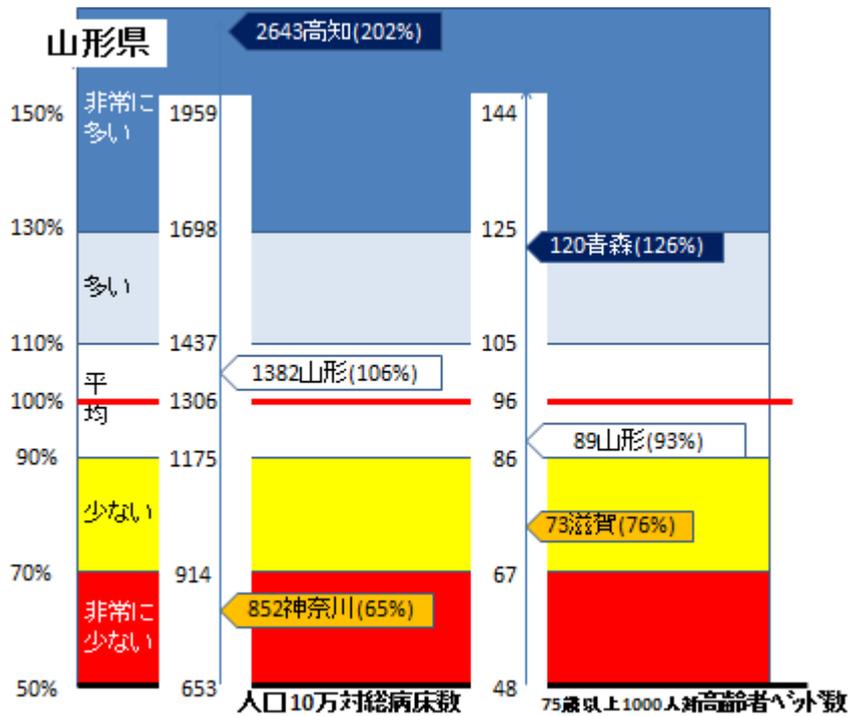


表 6-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
山形県	2,032	0.6%	174	46	593	1.0%	51	51	3,901	1.1%	334	53
村山	926	46%	164	45	204	34%	36	47	2,254	58%	400	56
最上	108	5%	128	44	44	7%	52	51	180	5%	213	47
置賜	339	17%	149	45	120	20%	53	51	588	15%	259	49
庄内	659	32%	224	48	225	38%	76	56	879	23%	299	51

表 6-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
山形県	2	1.0%	1.7	51	6	1.6%	5.1	56	742	0.8%	64	49
村山	1	50%	1.8	51	3	50%	5.3	57	381	51%	68	50
最上	0	0%	0	43	1	17%	11.9	75	35	5%	42	43
置賜	1	50%	4.4	62	1	17%	4.4	54	133	18%	59	47
庄内	0	0%	0	43	1	17%	3.4	51	193	26%	66	49

表 6-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
山形県	1,423	0.9%	122	50	8,346	1.0%	714	52	15,418	0.9%	1,319	49
村山	935	66%	166	58	4,438	53%	788	56	8,986	58%	1,595	52
最上	64	4%	76	41	550	7%	652	50	684	4%	811	43
置賜	198	14%	87	43	1,435	17%	632	49	2,072	13%	913	44
庄内	226	16%	77	41	1,923	23%	654	50	3,676	24%	1,250	48

図 6-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

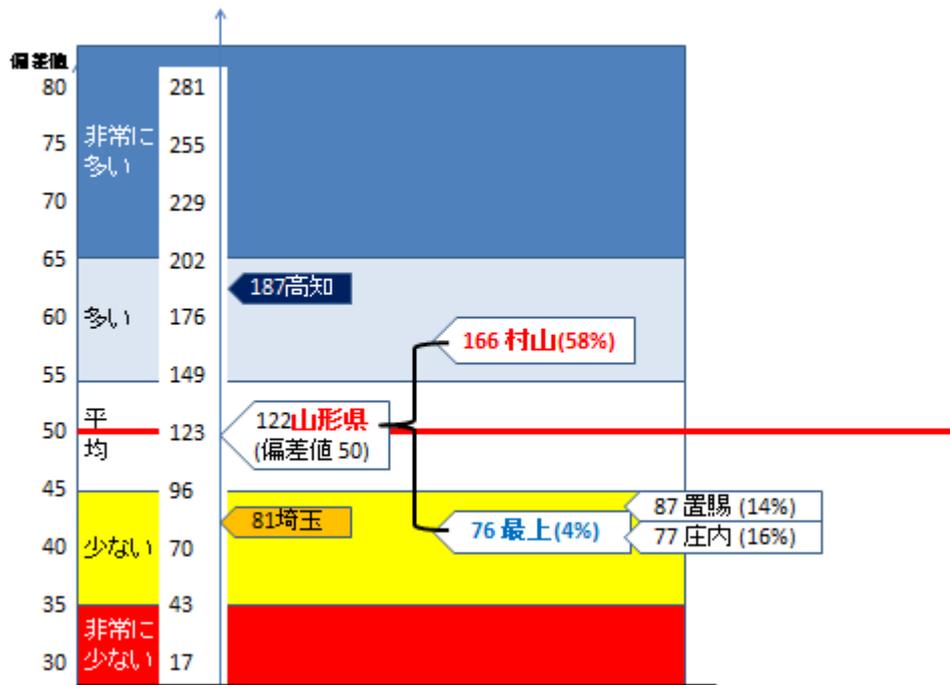


図 6-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

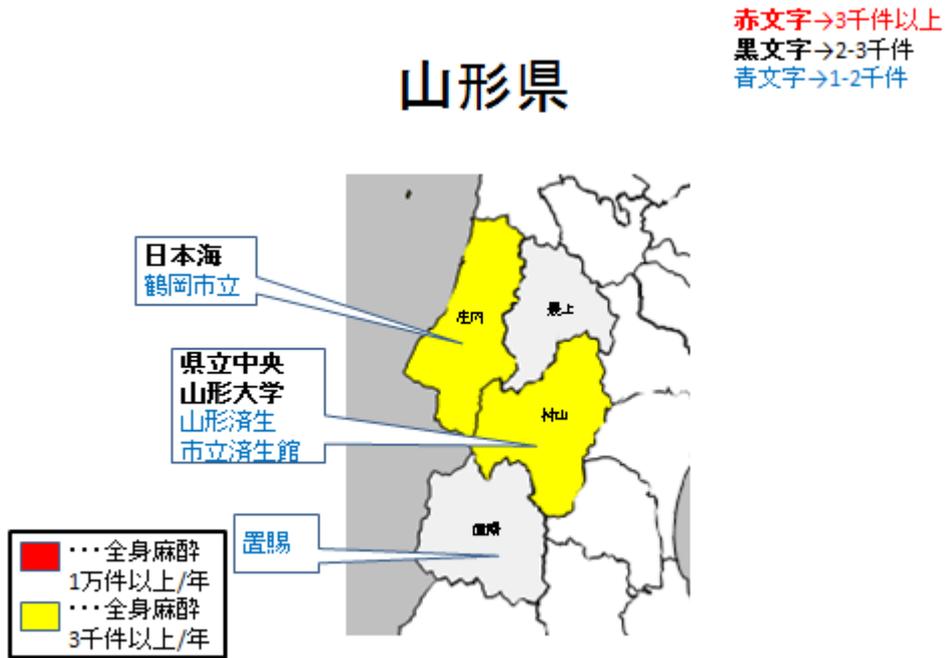


図 6-5 二次医療圏（流入出）

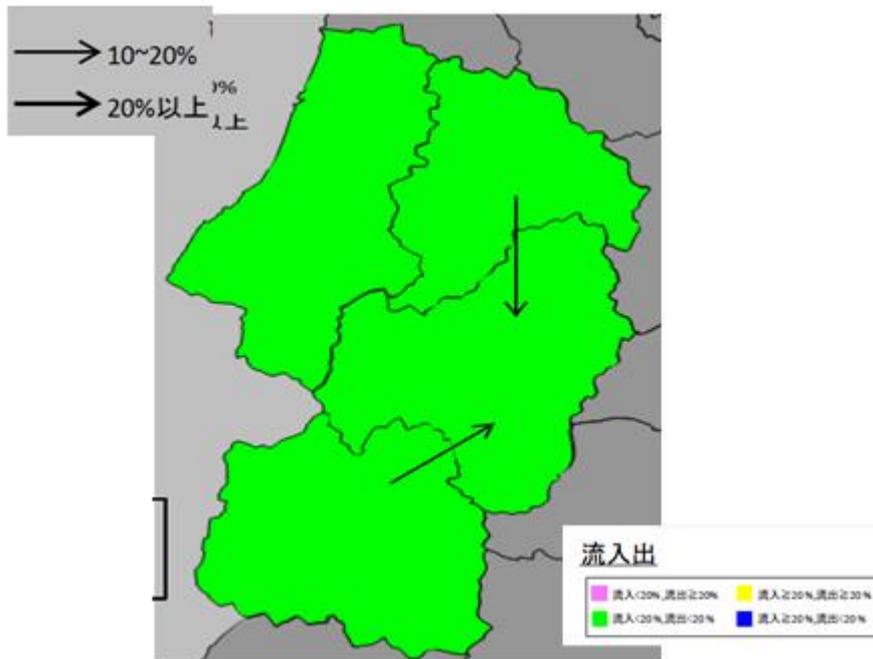


表 6-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
山形県	9,680	1.4%	54	53	3,701	1.2%	21	48	5,979	1.5%	33	55
村山	3,900	40%	48	48	1,443	39%	18	42	2,457	41%	30	52
最上	1,036	11%	72	69	310	8%	22	50	726	12%	51	72
置賜	2,148	22%	59	58	918	25%	25	56	1,230	21%	34	56
庄内	2,596	27%	54	54	1,030	28%	22	49	1,566	26%	33	55

表 6-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
山形県	6,256	1.0%	35	44	2,085	0.9%	11.6	45	1,729	1.1%	9.6	47
村山	2,785	45%	34	44	934	45%	11.4	45	676	39%	8.3	45
最上	404	6%	28	40	164	8%	11.5	45	63	4%	4.4	39
置賜	1,453	23%	40	47	514	25%	14.2	48	459	27%	12.7	52
庄内	1,614	26%	34	44	473	23%	9.9	44	531	31%	11.1	50

表 6-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
山形県		-6%	-30%	-15%	-25%	19%	16%
村山	2	1%	-25%	-9%	-19%	29%	24%
最上	3	-13%	-40%	-23%	-33%	11%	8%
置賜	3	-10%	-33%	-18%	-27%	11%	8%
庄内	3	-12%	-37%	-22%	-31%	12%	8%

図 6-6 山形県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

